

FDA名古屋小牧～福江チャーター便利用
「美しき祈りの島・五島列島３日間」の旅

令和８年11月、五島列島３日間の旅に行ってきました。今年、五島列島に行く予定はなかったのですが、以前利用した旅行会社から送られてきた国内旅行カタログで、「FDAチャーター便利用　美しき祈りの島・五島列島　３日間」というツアーを見つけました。

フジドリームエアラインズ（FDA）の県営名古屋空港発着のチャーター便を使用するため、通常は飛行機か列車を乗り継ぎ長崎まで行き、長崎港からフェリーに乗って渡らなくてはならいところ、２時間かからず着いてしまうのが魅力でした。しかし、チャーター便はツアーに参加しないと利用できないため、迷わずこのツアーを申し込みました。

出発当日は気圧の谷が通過する予報であいにくの雨予報。運よく名古屋は未明までに雨が上がり、名古屋空港到着時も曇り空でしたが、五島福江空港は悪天候のため、飛行機の出発時刻を30分遅らせることが決定。さらに着陸できない場合は名古屋空港に戻って来るという条件付き運航になってしまいました。チャーター便は30分遅れで離陸したものの、それほど揺れず無事に五島福江空港に着陸。機内では拍手が起こっていました。

空港には現地ガイドが添乗した観光バスが待っていて、私たちを乗せて福江島観光に出発。まず向かったのは島の南東にある「鎧瀬（あぶんぜ）溶岩海岸」。近くの「鬼岳」が噴火した際、流れ出た溶岩が固まった海岸で、この付近の大地は溶岩の上に土が堆積してできているとの説明でした。

続いて五島市内を走って島の北部にある「堂崎天主堂」へ。私は今から45年前に福江島を訪れたことがあり、堂崎天主



「鬼岳」から流れ出た溶岩でできた「鎧瀬（あぶんぜ）溶岩海岸」。このあたりの大地は溶岩の上にできているそうです。



低気圧通過で出発時刻を30分遅らせて離陸したものの福江空港に無事着陸。すでに雨も上がっていました。



今回2泊した福江島の数少ないリゾートホテル「カラリト五島列島」。お部屋の前にはきれいな海が広がっていました。



福江島でのキリシタン弾圧の歴史や「踏み絵」などの資料を展示している「堂崎天主堂」。私は 45 年ぶりに訪れました。

堂は45年ぶりの再訪でした。堂内は福江島におけるカトリックの弾圧の歴史や資料を展示する資料館として公開されています。以前と変わらず美しいステンドグラスが輝いていて、堂内の撮影ができないのが非常に残念でした。

続いて長崎県指定の特別記念物「五島樫ノ浦のアコウ（バニアンツリー）」、福江城跡に建つ「五島観光歴史資料館」を訪れ、「武家屋敷通り」を車窓から見て、1日目の観光を終えホテルへ向かいました。

今回宿泊するのは福江島南東の海岸線に建つリゾートホテルで、目の前は海という絶好のロケーション。宿泊棟は「サウス」、「ノース」、「ウエスト」の3棟に分かれていて、わが家はいちばん海に近い「サウス」のオーシャンフロントのお部屋を使用しました。

今日の夕食はホテルのレストランで、地元五島産の食材を使ったメキシコテイストのコース料理。ちょっと早めの午後5時半からツアー参加者全員でのディナーとなりました。順次運ばれてくる料理はどれを食べてもおいしく、注文したビールやワインとも、とてもよく合っていました。

旅行2日目は新上五島町のある中通島へ向かいました。乗船したフェリーは午前8時発、奈良尾港経由長崎港行き。奈良尾港までの所要時間は65分で、私たちは「2等自由席」でいわゆる「雑魚部屋」。景色を見ながらのほうがいいですから、展望デッキへ上がりました。約1時間後の午前9時05分、定刻通り奈良尾港到着。

奈良尾港ターミナルにはこの日お世話になる現地の観光バスが待っていました。バスは1時間ほど走って、中通島北部の「矢堅目（やがため）の



「矢堅目の駅」では海水をかん水して塩を製造する作業場を見学。食塩よりミネラル成分の多い良質な塩とのこと。



福江港から中通島へは往復フェリー。所要時間は1時間05分。2等自由席なので甲板に出て景色を楽しみました。



木造瓦葺きの「鯛ノ裏教会」。戦後に増設された鐘楼には原爆で黒ずんだ「浦上天主堂」のレンガが使われています。



国の重要文化財にも指定されている「青砂ヶ浦教会」。右下は人の姿をした悪魔を踏みつける「大天使ミカエル像」。

駅」というおみやげ店を併設した「矢堅目の塩本舗」到着。ここは海水をかん水させて塩を製造する工房で、天日干しよりも塩分が濃いのが特徴のようです。ここでわが家も「矢堅目の塩」を購入しました。

中通島には26か所もの教会があり、そのうちいくつかは世界遺産にも登録されています。今回はその中から「青砂ヶ浦教会」と「鯛ノ裏教会」の２つを巡りました。「青砂ヶ浦教会」は五島の教会をいくつも手掛けた「鉄川与助」の設計・施工によるもので、国の重要文化財にも指定されています。しかし１か月前から外壁の修復工事が始まっていて、足場が掛けられていたのが残念。

続いて訪れたのは「鯛ノ裏教会」で、明治36年（1903年）に完成した木造瓦葺きの教会。戦後、建物正面にレンガ造りの鐘楼腰が増設された際、鐘楼外壁に原爆で黒ずんだ旧浦上天主堂のレンガが使われたことで有名になりました。

中通島の観光を終え、午後３時15分発のフェリーで福江島に戻り、いったんホテルで休憩したのち、バスで福江港近くのホテルへやって来ました。今夜は会席料理を食べながら「五島神楽」を鑑賞。

「五島神楽」は国の重要無形民族文化財に指定されていて、地元神社の宮司さんとそのお孫さんたちが活動されていました。個人旅行ではこうした機会はほとんどないので、ツアー旅行ならではの体験をすることができました。食事しながら「五島神楽」の演舞を鑑賞したのち、バスでホテルへ戻ってこの日の予定終了。

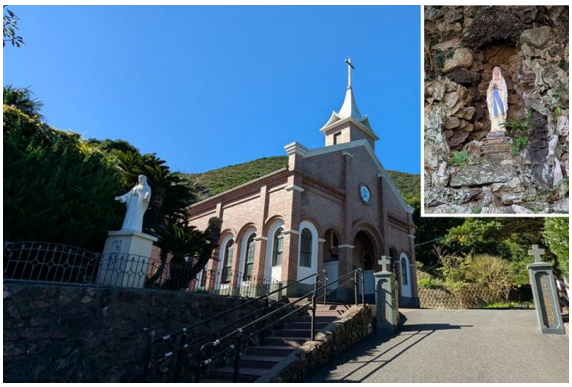
３日目は福江島をぐるりと回るコースが用意されていて、最初は福江島北側を走って「高浜ビーチ」へ。そこには白



３日目の福江島観光で立ち寄った「高浜ビーチ」。真っ白な砂浜に透明な海。五島の海の美しさに見惚れてしまいました。



夕食は福江港近くのホテルで国の重要無形民俗文化財に指定されている「五島神楽」を鑑賞しながらの会席料理。



大瀬崎近くに建つ「井持浦教会」。国内最古の「ルルド」があることで有名。大瀬崎とともに 45 年ぶりに訪れました。



福江島の南西端にある「大瀬崎」。この日は雲ひとつない晴天で青い空と青い海に先端の灯台が際立っていました。

い砂浜と透き通ったきれいな海が広がっていました。ガイドさんは日本一きれいな海と自慢。五島の砂浜が白いのは、貝殻が波に浸食されて粒状になったためとの説明でした。

バスは島の西側を南下し、福江島の南西にある「大瀬崎」へ。大瀬崎は細長くせり出した先に灯台が立つ景勝地で、ここも私は45年前に訪れたことがありました。この日は晴天に恵まれ、とても美しい風景を見ることができました。

そしてバスは「井持浦教会」へ。「井持浦教会」には国内最古の「ルルド」があります。ルルドとはフランス南部の町の名で、川沿いの洞窟に光に包まれたマリア様が現れ、お告げにより付近を掘ると泉が湧き、その泉を飲んだり沐浴すると難病が治るという奇跡が起こったと伝えられるもの。

昼食後、今回のツアー最後の訪問地「鬼岳」へ。ガイドさんが「鬼岳に登る」と言っていたのですが、私はバスで山頂近くまで登って行くのかと思っていたのです。しかし着いた駐車場は鬼岳のふもと。ガイドさんを先頭にツアー客全員が登頂を始めました。

鬼岳からの眺めはすばらしく、福江空港の滑走路や五島市内がよく見えました。まさかツアーで登山するとは思っていませんでしたが、とてもいい体験をすることができました。これで今回のツアーの予定はすべて終了し、バスで福江空港へ向かいました。

名古屋までの復路便もFDAのチャーター便。定刻通り16時ちょうどに福江空港を離陸し、ジェット気流にも乗って飛行時間わずか1時間15分で県営名古屋空港到着。利用してあらためてチャーター便の快適さを実感した旅行でした。



福江空港駐機中の FDA の県営名古屋空港行きチャーター便と「チャーター便」と印刷された珍しい厚紙の搭乗券。



まさかツアーで「鬼岳」登山するとは思ってもいませんでしたが景色はバツグン。噴火口あとも見ることができました。